

CAMPUS LIFE AT THE CHINESE UNIVERSITY OF HONG KONG

GCP 4 期生、教育学部教育学科の中村美佳です。2015 年 8 月末より、香港中文大学に交換留学しています。



3 月に参加した模擬国連にて

香港中文大学

The Chinese University of Hong Kong

香港中文大学は、1963 年に中国の文化保護の意味も込めて設立された大学であり、米国式の香港大学とは異なり、授業言語は英語と中国語で行われています。キャンパス内はとにかく広く、大学内を走るバスで教室へ移動することもあります。また、図書館の一部のスペースは 24 時間空いているため、勉強もしっかりと行うことができます。

授業 月曜日から金曜日まであり、1 限目は朝の 8 時半から始まります。中文大学は香港の中でも特に中国語の学習に力を入れている大学であり、中国語の授業はビギナーからネイティブレベルまで細かく分かれています。私は比較的初心者のクラスをとっていたため、多国籍の留学生と共に勉強をしていました。また、香港の大学の中でも一番学部・学生数が多いので、その分開講されている授業も多岐に渡ります。特に経営学部の授業は人気があり、同じ授業でも時間によって異なり 10 個程開講されているときもあります。

食堂 大学内の食堂とカフェは合わせて 30 を超えるほど多く、さすが山の中に住んでいるだけあるなという感じです。食堂は留学生向けの場所や香港の学生向けの広東語のメニューしか置いていない食堂などもあるので、自分にあった食堂探しを試みるのも面白いかもしれません。たまに驚くような味もありますが、それも楽しみの一つです。

日本語 学科が中文大学にはあり、welcome dinner など日本からの留学生のために行ってくださいるので非常に歓迎的です。

留学中の勉強 は主にマーケティングなどを学んでいましたが、他にもジャーナリズムの授業、InternationalAsianSenior Program という GCP のプロゼミのような授業などもっており、グループで feminism についてリサーチを行いました。課外では商工会議所という場所でボランティアをしており、多くの社会人の方と関わる機会がありました。また、TPP のリサーチのために企業訪問なども行いました。また、3 月に中文大学で行われた模擬国連にも参加しました。



香港 は経済のハブとして知られているように、多くの企業が進出しており、日本企業も例外ではありません。また、100 万ドルの価値があるとも言われている香港の夜景は本当に見応えがあり必見です。また、学生の上位約 20%しか大学に進学できないという激しい競争率もあり、レベルは高いと感じます。



香港中文大学の留学生は全員寮に住むことができます。私の寮は大学が設立された時からあり、歴史を感じることが出来ます。2 人部屋で、香港人と一緒に住んでいます。寮を選ぶことはできないのですが、私の寮は基本的に香港人が多いです。山の上にあり、海に面しているため屋上からの景色は本当に綺麗です。